



HISTOFINE

**2013年 4月改訂(第4版)

*2008年 3月改訂(第3版)

2005年 6月作成

体外診断用医薬品

クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ
ヒストファイン SAB-PO(M)キット
ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)

第一抗体
抗ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニットモノクローナル抗体
(動物種：マウス)

包装：50テスト(6mL) Code：422321

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ ヒストファイン SAB-PO(M)キットの構成試薬 第一抗体である。
- 本品を使用する際は、ヒストファイン SAB-PO(M)キットの添付文書をよく読んで使用すること。
- 特異性および抗原分布：ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット(HCG-β)と反応する。HCG-βは正常ヒト胎盤の合胞体栄養細胞層中に認められる。
- クローン名：C6405
- 抗体のサブクラス：IgG1
- 免疫原：ヒト妊婦尿から精製したHCG-β。
- 製法：マウスの腹水より精製し、免疫グロブリン分画を得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニットモノクローナル抗体(動物種：マウス)。
液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と、0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

**2. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

パラフィン包埋切片の場合、前処理(抗原賦活化)としてヒストファイン トリプシン溶液(Code：415101)にて10分間(37℃)処理することが必要である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を2滴(100μL)滴下し、常温(15-25℃)で30分~1時間インキュベートする。**

また、組織の固定条件等により4℃、一晩のインキュベートで良好な染色が得られる場合もある。

3. 貯法

2-8℃保存。

4. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

5. 主要文献

- (1) Vaitukaitis, J. L. et al: Recent Prog. Horm. Res. 32: 289, 1976
- (2) Whyte, A.: Lancet. 2: 1003, 1978
- (3) McManus, L. M. et al: Cancer Res. 36: 3476, 1976